

脱炭素社会の実現に向けた公共建築整備

～『環境首都あいち』を目指した取組み～



事業概要

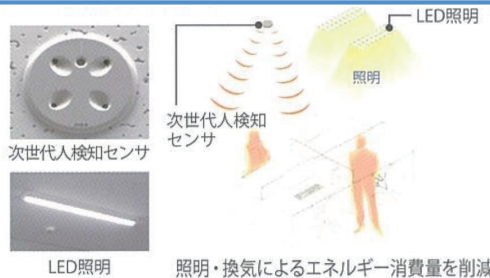
愛知県環境調査センターは、愛知県の環境行政を科学的・技術的に支える調査・研究機関として1970年に設置された。1972年に現在の名古屋市北区に移転し、愛知県衛生研究所と建物を東西分けて使用していたが、進行する老朽化に加え、耐震性も十分でないことから建替えを行うこととした。

また、施設の建替えに当たり、「環境首都あいち」にふさわしい全国モデルとなる新エネルギー・省エネルギー施設とすることを基本方針の一つに掲げた。

2016年10月からPFI事業を進め、建物の設計段階の一次エネルギー消費量を85%削減し、公共施設で全国トップクラスのZEB (Nearly ZEB) の認証を取得した。

施設概要

施設名：愛知県環境調査センター・
愛知県衛生研究所（新本館・研究棟）
所在地：名古屋市北区
構造：鉄骨造 地上4階/塔屋1階
面積：8,147㎡
竣工：2020年3月



施設が運用されてからは…

施設内には「あいち環境学習プラザ」があり、どなたでも見学できるようになっていて、学校などの団体も多数いらっやっています。

自然光を利用したシステムをご覧になった方からは「こんなこともできるんだね！」と驚きの声もあります！

総務課 Kさん



脱炭素社会の実現に向けた公共建築整備

～『環境首都あいち』を目指した取組み～



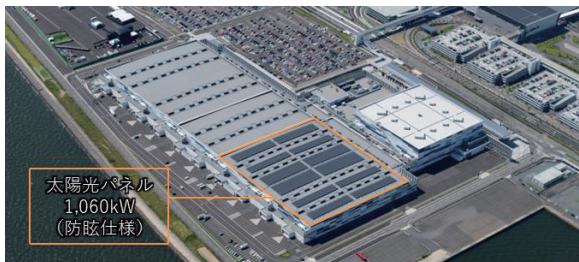
事業概要

アジアの主要都市では、経済発展などのため、海外サプライヤーと国内バイヤーの商談の場として展示会産業が急成長している。これに対し、日本国内の展示会場の総面積は他国に比べて経済規模のわりに小さく、展示会を含むMICE(ビジネスイベント)産業の成長が求められている。そこで愛知県では、国内外の人の流れを呼び込む空の玄関口である中部国際空港セントレア空港島内に国内初となる国際空港直結型の国際展示場の建設を決定した。中部国際空港から世界に発信できる環境配慮型展示場として、国内外の利用者を通じて、ZEB化展示場の国際的な波及に寄与する狙いもあった。

当施設は、メガソーラー太陽光パネルをはじめとした様々な省エネ技術を備えており、CASBEE-Sランク、ZEB Ready(計画)・Nearly ZEB(実績)を達成した。

施設概要

施設名：愛知県国際展示場
「Aichi Sky Expo」
所在地：常滑市
構造：鉄骨造 地上2階
面積：89,693㎡
竣工：2019年6月



施設が運用されてからは…

当館では、屋上のメガソーラー太陽光パネルによる余剰発電分を空調の運転に活用することができ、複数イベントの併催などで館内空調をフル稼働する際の最大デマンドの抑制(ピークカット)に威力を発揮しています。

結果的に契約電力も最小化できて、電気料金も抑制できています！
施設管理担当 Aさん

